

令和4年11月1日

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

久我建設株式会社(代表取締役:久我文敏、以下「当社」という)は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「同機構」という)が発行するソーシャルボンド(第69回日本学生支援債券、以下「本債券」という)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券のことであり、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるムーディーズESGソリューションズからセカンドオピニオンを取得しています。

当社は1990年の創業以来、土木工事と建築工事を通じて地域社会の発展と復興に貢献し、宮城県より優良工事表彰または事故防止優良者表彰を毎年表彰されています。これは社員一人ひとりが責任感と挑戦心をもち、チームとして施工品質の向上に努めてきた結果です。

当社の社員育成に留まらず、未来を担う学生が「学ぶ機会」を獲得できるよう、同機構債への投資を決定しました。本債券の資金使途である同機構の貸与奨学金が、SDGs⁽²⁾の目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成、我が国の教育面の課題解決に資すると期待しております。

私たちは時代の変化に合わせて、建設ICTの積極的な活用や、ISO14001の運用等、働き方改革の実現、地球環境への配慮に取り組んでいます。今後も「チャレンジ精神」のもと「創意工夫」を図り、社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘柄	第69回日本学生支援債券
年限	2年
発行額	300億円
発行日	令和4年11月9日

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以上